

委員の 報告 任か 常会

◎町内所管事務調査 10月18日・19日

○大雨災害現場（一の橋
浄水場水源地、開放線）

一部路肩が崩壊して通行止めとなつている。10月末災害査定が行われるが、先の臨時会で復旧事業として延長30mの工事を予算化している。

〈所見〉

一の橋浄水場水源地は、共用開始後40数年が経過するとともに国道から約3kmの遠距離にある。今後、施設管理等に多大な

この度の台風等により一の橋浄水場水源地の取水口が土砂の流入によって一時給水ができなくなるなど被害が発生した。また、水源地までの管理道路も横断管が詰まるなどしたが、応急処置を行い仮復旧した。



開放線 大雨災害現場

負担が生じることが予想されることから、下川浄水場の基本計画策定と並行しながら、一の橋浄水場の基本計画を策定する必要がある。また、不測の事態も想定しながら、現水源地の適切な管理に努める必要がある。

○一の橋バイオビレッジ
椎茸栽培施設（火災後の復旧状況）

〈概要〉

特用林産物栽培研究所菌床生産棟からの出火により、内壁、電気設備関係等が延焼し総額525万円の被害が生じ、その後復旧工事は完了している。

〈所見〉

本事件に関し、「今後このようなことがないように施設管理には十分注意し、取り組んでいきたい」と

の行政報告を受けているところであるが、現況からして、その後の管理対応が不十分であり改善が図られていない。防災体制や作業環境を含め、問題の本質を深く認識し万全を期す必要がある。

○公園管理（中成遊園地、桜ヶ丘公園、末広ファミリパーク、安原公園、中央遊園地）

〈概要〉

下川町公園の設置及び管理に関する条例に基づき、住民福祉の増進に寄与するため設置されている公園である。

〈所見〉

設置されている公園にあっては、設置後、相当



万里長城 石積み亀裂箇所

の年数が経過しており地域の実情や環境の変化などによって、現実にそぐわない状況になっている。町内における望ましい公園の在り方について、維持管理経費の軽減を含め、早期に抜本的な見直しを行う必要がある。

また、昭和61年度から築城した「万里長城」は、至る所に亀裂が入り、崩壊の危険がある所も見られる。